

授業科目名		対象学科・専攻	年次	期別
社会科指導法 Teaching Methods of Social Studies		児童教育学科 初等教育学専攻	2年次	前期
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	教員免許状取得 必修/選択必修	担当教員	担当形態
講義	2	選択	隅野 努	単独

科目	施行規則に定める科目区分又は事項等
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）
<p>○コアカリキュラム：各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）</p> <p>全体目標：当該教科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された当該教科の学習内容について背景となる学問領域と関連させて理解を深めるとともに、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p> <p>（1）当該教科の目標及び内容</p> <p>一般目標：学習指導要領に示された当該教科の目標や内容を理解する。</p> <p>到達目標：1）学習指導要領における当該教科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している。 2）個別の学習内容について指導上の留意点を理解している。 3）当該教科の学習評価の考え方を理解している。 4）当該教科と背景となる学問領域との関係を理解し、教材研究に活用することができる。</p> <p>（2）当該教科の指導方法と授業設計</p> <p>一般目標：基礎的な学習指導理論を理解し、具体的な授業場면을想定した授業設計を行う方法を身に付ける。</p> <p>到達目標：1）子供の認識・思考、学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している。 2）当該教科の特性に応じた情報機器及び教材の効果的な活用法を理解し授業設計に活用することができる。 3）学習指導案の構成を理解し、具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成することができる。 4）模擬授業の実施とその振り返りを通して、授業改善の視点を身に付けている。</p>	

<b>【全体目標及び概要】</b>	
<p>社会科の教材研究、学習指導案の作成、模擬授業の実践と授業検討等を通して、公民的資質の基礎と養う社会科の「授業のつくり方」と「授業のしかた」についての基礎・基本を学ぶ。社会科の学習指導者としての使命感と実践力を身につけて、教壇に立つ準備ができる。</p>	
<b>【一般目標及び到達目標】</b>	<b>コア目標対応</b>
(1) 社会科の教材研究を「授業のつくり方」の観点から理解する。 1) 社会科における教材研究の必要性を説明できる。	(1)-1)、2)、4)
2) 小学校社会科の目標を構造的にとらえ、その要旨を説明できる。	(1)-1)
3) 教科書が主たる教材である理由と教科書の選定の仕組みを説明できる。	(1)-4)
4) 各社の教科書の長短所を指摘し、よりよい教科書の選定ができる。	(1)-1)、2)、4)
5) 社会科学習指導案作成のための基礎知識を説明できる。	(1)-4)、(2)-(2)
(2) 社会科の教材研究を「授業のしかた」の観点から理解する。 1) 題材「聖徳太子の国づくり」を例に、指導内容を整理できる。	(2)-1)
2) 他の人の学習指導案を読んで、そのよさや問題点を指摘できる。	(1)-3)、(2)-3)
3) 各自で模擬授業の教材を選択し、社会科学習指導案を書くことができる。	(2)-2)
4) 授業を展開するうえで必要になる発問・資料・板書の計画を立てることができる。	(2)-3)
(3) 社会科の模擬授業を実践し、教えることの使命感と実践力を身につける。 1) 自分の学習指導案をもとに45分間の模擬授業ができる。	(2)-1)、2)、3)、4)
2) 自評・質疑応答・感想意見の手順に従って、授業検討をすることができる。	(1)-3)、(2)-4)
3) 授業の実践・検討を通して、教えることの厳しさと楽しさを実感する。	(2)-3)、4)

回数	社会科指導法 授業内容 【隅野 努】	到達目標の番号	コアカリキュラム対応項目
1	社会科の目標を構造的にとらえるとともに、教材研究の価値と方法について理解する	(1)-1)、(1)-2)	(1)-1)、2)、4)
2	学習指導要領と教科書、教材の関係について学び、教科書が主たる教材である意味や教科書選定の仕組みを理解する。	(1)-3)	(1)-4)
3	各社の教科書の比較・分析・検討を通して、よりよい教科書の選び方について理解する。	(1)-4)	(1)-1)、2)、4)
4	授業を活性化する3つの授業構想をコンピュータやプロジェクターを活用して、課題作りの「元の襲来」、現認識を生かす「賢い消費者」、授業型の「明治時代」を具体的事例をもとに学ぶ。	(1)-5)	(1)-4)、 (2)-2)
5	学習指導案の様式に従って、題材「聖徳太子の国づくり」について実際に書いてみる。	(2)-1)	(2)-1)
6	お互いの書いた学習指導案を相互にチェックし合うことで、教材観を書くための下調べの大切さを実感する。	(2)-2)	(1)-3)、 (2)-3)
7	「聖徳太子の国づくり」の実例から、指導案の書き方のポイントをつかむとともに、発問・資料・板書の観点で分析する。	(2)-4)	(2)-3)
8	先輩の優れた社会科模擬授業のVTRを見ることで、発問の巧みさ、資料提示のタイミング、板書のまとめ方を学び取る。	(3)-2)	(1)-3)、 (2)-4)
9	各学年の教科書を参考に自分の模擬授業の教材を選び、学習指導案の作成、ICT機器を活用した資料準備を行う。	(2)-2)、(2)-3)、 (2)-4)	(1)-3)、 (2)-2)、3)
10	各学年の教科書を参考に自分の模擬授業の教材を選び、学習指導案の作成、ICT機器を活用した資料準備を行う。	(2)-2)、(2)-3)、 (2)-4)	(1)-3)、 (2)-2)、3)
11	模擬授業①を行いVTRで記録に残す。その後授業検討を行う。自評・質疑応答・感想・教師のコメントの順で進行する。	(3)-1)、(3)-2)、 (3)-3)	(1)-3) (2)-1)、2)、3)、4)
12	模擬授業②を行いVTRで記録に残す。その後授業検討を行う。自評・質疑応答・感想・教師のコメントの順で進行する。	(3)-1)、(3)-2)、 (3)-3)	(1)-3) (2)-1)、2)、3)、4)
13	模擬授業③を行いVTRで記録に残す。その後授業検討を行う。自評・質疑応答・感想・教師のコメントの順で進行する。	(3)-1)、(3)-2)、 (3)-3)	(1)-3) (2)-1)、2)、3)、4)
14	模擬授業④を行いVTRで記録に残す。その後授業検討を行う。自評・質疑応答・感想・教師のコメントの順で進行する。	(3)-1)、(3)-2)、 (3)-3)	(1)-3) (2)-1)、2)、3)、4)
15	模擬授業⑤を行いVTRで記録に残す。その後授業検討を行う。自評・質疑応答・感想・教師のコメントの順で進行する。	(3)-1)、(3)-2)、 (3)-3)	(1)-3) (2)-1)、2)、3)、4)
定期試験	実施しない		
成績評価方法	授業への取り組み（関心・意欲・態度）50%、模擬授業（知識・理解、思考力・判断力・表現力）30%、授業分析力（思考力・表現力）20%		
テキストおよび参考文献	テキスト：『社会科教材研究』山口短期大学 参考文献：『小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）』 『小学校社会科教科書』東京書籍 『小学校社会科教科書』日文		
メッセージなど	後期10月から始まる教育実習に向けて、社会科の授業づくりの基本を学びます。学習指導案を書いて、模擬授業に挑戦する実践的な講座です。		

ルーブリック評価を用いた成績評価						
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価比率
(1)-1) 社会科における教材研究の必要性を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。	授業への取り組み (関心・意欲・態度) 定期試験 (知識・理解、思考力・判断力・表現力)	5%
(1)-2) 小学校社会科の目標を構造的にとらえ、その要旨を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(1)-3) 教科書が主たる教材である理由と教科書の選定の仕組みを説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(1)-4) 各社の教科書の長短所を指摘し、よりよい教科書の選定ができる。	ほぼ完璧に長短所を指摘できる。	大きな間違いがなく、長短所を指摘できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の指摘ができる。	長短所の指摘ができない。		5%
(1)-5) 社会科学学習指導案作成のための基礎知識を説明できる。	ほぼ完璧に説明できる。	大きな間違いがなく、基本を説明できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の基本を説明できる。	説明できていない。		5%
(2)-1) 題材「聖徳太子の国づくり」を例に、指導内容を整理できる。	ほぼ完璧に整理できる。	大きな間違いがなく、基本が整理できる。	間違いはいくつかあるが、最低限の整理ができる。	整理できない。	授業への取り組み (関心・意欲・態度) 学習指導案づくり (思考力・判断力・表現力)	5%
(2)-2) 他の人の学習指導案を読んで、そのよさや問題点を指摘できる。	様々な角度から指摘できる。	幾つかの角度から指摘ができる。	1つ以上指摘ができる。	指摘できない。		5%
(2)-3) 各自で模擬授業の教材を選択し、社会科学学習指導案を書くことができる。	ほぼ完璧に書くことができる。	大きな間違いがなく、基本を踏まえて書くことができる。	形式的に最低限の記述ができる。	書くことができない。		5%
(2)-4) 授業を展開するうえで必要になる発問・資料・板書の計画を立てることができる。	子どもの立場に立ったほぼ完璧な準備ができる。	大きな間違いがなく、基本を踏まえた準備ができる。	最低限の準備ができる。	準備ができない。		5%
(3)-1) 自分の学習指導案をもとに45分間の模擬授業ができる。	よい授業の3条件を生かした、ほぼ完璧な授業ができる。	大きな間違いがなく、基本をおさえた授業ができる。	最低限授業の形にはなっている。	授業ができない。	模擬授業 授業検討会 (思考力・判断力・表現力、関心・意欲・態度)	30%
(3)-2) 自評・質疑応答・感想意見の手順に従って、授業検討をすることができる。	様々な角度から、適切な質問や意見を述べることができる。	幾つかの角度から、質問や意見を述べることができる。	1つ以上、質問や意見を述べるができる。	意見を述べるができない。		20%
(3)-3) 授業の実践・検討を通して、教えることの厳しさと楽しさを実感する。	教壇に立つことの自覚をもって、積極的・協働的に取り組む。	基本はできしており、創造性や柔軟性も一部身につけている。	授業をすることを義務的にとらえている。	その場にいらない。		5%